

NO！リニア

No. 9 5

2016年8月22日

JR東海労働組合

リニア大阪延伸に対する労使協議否定は許さない！ 財政投融資について再び申し入れ！

本部は、「リニア中央新幹線建設」報道に関する申し入れ（『申第2号』）で労使協議の開催を求めてきました。しかし、会社は「報道のことであり、この間の考えと変わったことはない」として、労使協議は行わず窓口で回答したのです。

8月3日の記者会見で社長は、「財政投融資を受け入れ大阪延伸を最大8年間前倒しに向け全力を挙げる」と発言し、窓口回答とは一転しました。会社は「リニア中央新幹線建設に変更があったときは労働組合に説明する」としてきましたが、この大阪延伸と財政投融資の件について、労働組合には何ら説明していません。このような行為は明らかに信義違反です。

本部は8月19日、財政投融資を活用した「リニア中央新幹線建設」に関する申し入れ（『申第7号』）を提出し、労使協議の開催を強く求めました。

以下、申し入れの趣旨です。

1. 社長の記者会見では、国からの財政投融資を「大歓迎」し、大阪までの延伸を前倒しするとしているが、この間の方針に変更があったのか明らかにすること。
2. 東京～大阪間の建設は莫大な建設費が必要となる。東京～大阪間建設の今後の資金計画、建設予算を明らかにすること。
3. 「公的資金が入ると国や自治体が主張を強め、工事に時間がかかる場合もある」「技術的に難易度が高い工事もあり、実際何年前倒しできるかは見通しが立たない部分がある」との指摘に対する会社の考えを明らかにすること。
4. 政治介入があった場合はどのようにするのか、会社の考えを明らかにすること。
5. 安倍首相の「成長戦略の目玉」という政治的な思惑に、リニア中央新幹線が使われることは、「国鉄」が政治介入によって破産させられ、雇用不安を招いたことを想起する。リニア中央新幹線への財政投融資の受け入れは政治介入である。財政投融資の受け入れはやめること。リニア中央新幹線建設を中止すること。